

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立昭和北小学校  
(昭和北中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	—	—	—
令和4年度	+3.4	+2.8	+4.7

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p><b>国語</b></p> <p>本校 69 % 全国 65.6 % 県 67 %</p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 我が国の言語文化</p>	<p><b>重点課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に考えることに課題がある。(設問2一)【読むこと】(正答率54.6%)</li> <li>◎記述問題の無回答が5.4%いた。</li> <li>◇文章を読み、叙述を基に自分の考えをまとめて書くことに課題がある。</li> </ul> <p><b>改善の方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎物語を読み、登場人物の気持ちや相互関係に着目して物語の全体を想像したり、表現の効果を考えたりする活動を設定する。</li> <li>◎記述条件のある問題を朝の学習タイムなどで計画して実施する。</li> <li>◇目的や意図に応じた文章を書く活動を設定する。</li> </ul> <p><b>検証</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎全国学力(設問2一)(第3～6学年2月)目標80%⇒結果82%</li> <li>◎全国学力(設問2一)類似問題(第3～6学年2月)目標80%⇒結果85%</li> <li>◇類似問題を実施し、各校の目標値を達成。</li> </ul>
<p><b>算数</b></p> <p>本校 66 % 全国 63.2 % 県 64 %</p> <p>数と計算 データの活用 図形 変化と関係</p>	<p><b>重点課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎日常生活の場面に即して、数量が変わっても、割合が変わらない場合があることをとらえることに課題がある。【変化と関係】(正答率18.5%)</li> <li>◎図形の意味や性質を基に、構成の仕方について考察し、記述できることに課題がある。【図形】(正答率44.6%)</li> <li>◇問題解決のために立式を変形したり、目的に応じて表やグラフを読み取ったりして、資料の特徴を捉えて、考察することに課題がある。</li> </ul> <p><b>改善の方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるようにする。</li> <li>◎示された場面において図形の構成の仕方について操作活動を充実させ、考察や交流をしよう場面を設定し、思考・判断・表現力を育成していく。</li> <li>◎教科書「わくわく算数広場」の授業を通して活用問題に慣れさせていく。</li> <li>◇授業で課題の解決に向けて考察する場面や交流する活動を意図的に設定する。</li> </ul> <p><b>検証</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎変化と関係に関する市販のテストの問題(第5・6学年,2月)目標80%⇒結果85%</li> <li>◎図形に関する市販のテストの問題(第3～6学年,2月)目標80%⇒結果83%</li> <li>◇類似問題を実施し、各校の目標値を達成。</li> </ul>
<p><b>理科</b></p> <p>本校 68 % 全国 63.3 % 県 66 %</p> <p>エネルギー 地球 粒子 生命</p>	<p><b>重点課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎自然の事物・現象や他者の気付きを基に、差異点や共通点を捉え、性質や規則性等を把握し、観察・実験などの方法を見通すことなどを意識しながら分析して、解釈することに課題がある。</li> <li>◎問題を正確に把握し、理解することに課題がある。</li> <li>◇共通点や相違点を捉え、その結果を分析し、解釈することに課題がある。</li> </ul> <p><b>改善の方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎実験等で習得した既習事項を、日常生活の中で応用させていく。</li> <li>◎授業の中での、振り返りや考察の部分を大切にする。</li> <li>◎具体物を操作させたり、実際に体験させたりすることを重視していく。</li> <li>◇実験後、その結果を分析・考察する機会を必ず設定する。</li> </ul> <p><b>検証</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎全国学力・学習状況調査等の類似問題に取り組む。(第5・6学年,2月)目標70%⇒結果75%</li> <li>◇類似問題を実施し、各校の目標値を達成。</li> </ul>

【来年度に向けて】2月に、課題のあった問題及び類似問題に取り組んだ結果、全ての教科で目標値をクリアすることができた。国語科においては、場面や目的に合わせて自分の考えを記述する力が今後も課題となる。学習の中で、振り返り等自分の考えを書かせる場面を日常的に取り組ませる必要がある。算数科や理科においても、解答や現象について説明する力が全体的に不足している。知識や技能をしっかりと身に付けた上で、自分の考えを表現する場や、他の児童の意見を聞いて比較したりする時間をしっかりと確保していきたい。